

地域と農政を結ぶ

Vol.

28

令和6年4月

コラム「新茶の季節です」

令和6年度地方参事官室担当者をご紹介します

トピックス

- ・ 農産物の環境負荷低減の取組を「見える化」
- ・ 令和6年度農作業安全対策を推進
- ・ 令和5年度 農山漁村女性活躍表彰受賞
- ・ 職場に花を飾って楽しんでみませんか

県内で新規就農した方をご紹介します！

- ・ かんきつの有機栽培に挑戦
- ・ 憧れの梨農家へ

統計の部屋

- ・ 令和4年産市町村別農業産出額（推計）

関東農政局 静岡県拠点 地方参事官室

農林水産省

新茶の季節

新茶の季節がやってきました。この時期を心待ちにしていた人もいらっしゃると思います。新茶の魅力と言えば、季節感でしょうか。新茶らしい風味が好きだという人もいらっしゃると思いますし、テアニンなどのうま味成分も多いといった成分の違いもあり、新茶を美味しいと感じる人も多いと思います。せっかくの初物なので、年に一度の風味を味わってみてはいかがでしょうか。

新茶の概念のないお茶

一方で「新茶」の概念のないお茶もあります。

何のことかと思うかもしれませんが、例えば「抹茶の新茶」というのはあまり聞いたことがないと思います。抹茶を作るには、まず摘採した茶葉を碾茶に加工した後、秋まで寝かせますが、この間に茶葉の中で「後熟」と呼ばれる化学変化が起こり、風味が変化します。これを粉末にして、抹茶として味わうことになりますので、抹茶の新茶というのは一般的ではありません。ちなみに通常の煎茶を良い条件で保存しても、「後熟」が起こって、秋には風味が変わります。「角がとれた」とか「まろやかな」とも表現される秋のお茶です。

輸出向けのお茶

「輸出向けのお茶」も新茶という概念はあまり聞きません。新茶を楽しみにしている海外の人もいるかもしれませんが、月別の輸出の数字を見ても特に新茶の時期に輸出が集中しているわけではないのが面白いところです。

一般的には、新茶は早く摘採して早く売ると価格が高くなりますが、輸出向けのお茶はそうした世界からは抜け出しているという点が興味深いと思います。

昨年のお茶の輸出は過去最高の292億円となりました。特に米国向けの輸出が大きく増えています（105億円（R4）→157億円（R5））。世界的には緑茶の生産は右肩上がりに増えてきており、FAO（国連食糧農業機関）の予測でも緑茶の貿易量は増加するとされています。政府としても茶を含む農産物・食品の輸出を推進しており、静岡県発の味も世界に広まってほしいと思っています。

新茶を味わいつつ、新茶の概念のないお茶にも興味を持っていただけると嬉しいです。

日本茶インストラクター
に合格しました！

関東農政局地方参事官（静岡）
秋山 憲孝



➤ 表紙 アーモンドの花（藤枝市）

毎年3月中旬頃、藤枝市の葉梨西北活性化施設「白ふじの里」の周辺では、ピンク色のアーモンドの花が咲き、「アーモンドまつり」が開催されます。白ふじの里実行委員会は、静岡県の事業「一社一村しずおか運動」に協力し、地元自治会とともに、アーモンドチョコレートで有名な(株)明治の東海工場をパートナーとして活動を行っています。アーモンドの苗木は(株)明治から寄贈され、白ふじの里実行委員会及び東海ナッツ(株)とともに植樹し、現在200本ほど植えられています。また、地域の里山では休耕田を利用し、菜の花・ひまわり・コスモスを咲かせ、四季の花々で活性化を図っています。

※「一社一村しずおか運動」：企業と農村が互いにメリットのある協同活動に取り組むことで農山村地域の活性化を図る。



白ふじの里（藤枝市）

令和6年度地方参事官室担当者をご紹介します



地方参事官
秋山憲孝

総括農政推進官
花村幸伸



企画担当

みなさまのところへお伺いします。

農政に関する意見・要望・質問をお寄せください。



分析担当



中・西部地域担当



東部・伊豆地域担当

農産物の環境負荷低減の取組を「見える化」

農林水産省では、**みどりの食料システム戦略**に基づき、消費者の選択に資する環境負荷低減の「見える化」を進めています。

- 米や野菜などを対象に、化石燃料の使用低減や中干期間の延長など、温室効果ガス削減に貢献した度合いに応じて★印で可視化します。生産者の努力を消費者に分かりやすく伝達するとともに、脱炭素の実現に向けた消費者の行動変容を促す取組です。

【対象品目：23 品目】

米、トマト、キュウリ、ミニトマト、ナス、ほうれん草、白ネギ、玉ねぎ、白菜、ばれいしょ、かんしょ、キャベツ、レタス、大根、にんじん、アスパラガス、リンゴ、みかん、ぶどう、日本なし、もも、いちご、茶

- 米については、生物多様性保全の取組の得点に応じて評価し、温室効果ガスの削減貢献と合わせて等級表示できます。



◀【農林水産省HP】
詳細はこちら

新たな環境負荷低減の取組の「見える化」等級ラベル

① 温室効果ガス削減 等級の基準



- 温室効果ガス削減の取組
- ★ : 削減率5%以上
- ★★ : 削減率10%以上
- ★★★ : 削減率20%以上

② 温室効果ガス削減＋生物多様性保全



- 生物多様性保全の取組 ※米に限る
- ★ : 取組の得点1点
- ★★ : 取組の得点2点
- ★★★ : 取組の得点3点

※上記の商標は商標出願中です。

令和6年度農作業安全対策を推進

農林水産省では、今年度から、熱中症対策と農作業安全の研修実施強化期間を設定し、農作業安全対策を推進します。

<令和6年度の重点推進テーマ>

学ぼう！正しい安全知識

～機械作業の安全対策と熱中症の予防策～

- 近年の温暖化の影響により、熱中症による死亡者の割合も増加していることから、初夏（5～7月）に熱中症対策研修実施強化期間を設定します。
- 令和4年の農業機械作業に係る死亡者数は152件と、農作業死亡事故全体の64%近くを占める主要因となっていることから、農業者が研修を受講しやすい農閑期（12月～2月）に農作業安全研修実施強化期間を設定します。



熱中症対策&農作業安全ステッカー



全国農作業安全増進運動
農林水産省

令和5年度 農山漁村女性活躍表彰 受賞

優秀賞（経営局長賞）

女性起業・新規事業開拓部門

早川 ナナ さん(菊川市)

新たな販売の仕組みを作りおいしい野菜をお客様に

結婚を機に、夫と共に生産者グループ「トップハット」を設立するとともに、野菜バイヤーの経験を活かしてトップハットの販売部門である「nanacos」の代表として活動しています。また、おいしい野菜等を消費者に提供する「農家の嫁のセレクトショップ「姦（なな）商店」」を2020年にオープンしました。現在は、商品企画の構想を練るため、時間があれば全国各地へ市場調査に出かけています。今後も、トップハットの生産者グループメンバーの所得向上と自立した経営を目指すとともに、メンバーが生産に集中できる環境になるよう頑張ります。



職場に花を飾って楽しんでみませんか

農林水産省では、花の需要拡大を図るため「花いっぱいプロジェクト」を展開しています。

本プロジェクトの一環として、私達の職場では以下の取組を行っています。

■ 庁舎内に花を飾って、職場の雰囲気UP！

有志が費用を出し合って近所の花屋で花を買い、庁舎内に花を飾っています。殺風景だった玄関ホールや廊下に花を飾ることで、職場の雰囲気が明るくなり、来庁者からも「花を見るのが楽しみ」とコメントがありました。

■ 自宅に花束を持ち帰って、家族も笑顔に

花と共に大切な人へ日頃の感謝を伝える良い機会とするため、バレンタインデーとホワイトデーに希望者を募り、花束を近所の花屋で注文し共同購入しています。花に興味のなかった職員が花束を家に持ち帰り、家族が喜んだとの声がありました。また、これは花の需要が減少する冬ならではの取組でもあります。

ほんの少しの手間で、たくさんの方がハッピーになる取組です。皆さんの職場でもぜひチャレンジしてみたいはかがでしようか。



季節・イベントごとに展示を工夫しています。



バレンタインデー、ホワイトデーに花束を共同購入しました。

県内で新規就農した方をご紹介します！

静岡県拠点では、県内で新規就農した方から、農業を始めたきっかけや苦労したことなどの経験談を伺い、HPに掲載しています。そのうちの一部を抜粋しご紹介いたします。



▲【静岡県拠点HP】
詳細はこちら

かんきつの有機栽培に挑戦

杉本 祐一朗さん、良花さん（熱海市）

● 就農したきっかけ

熱海市の商店街にあるドリンクスタンドで、有機農業により栽培された果実を原料に、主力商品のレモネードのほか各種ドリンクなどを提供しています。数年前、原料のレモンが不作の時、なかなか手に入らず苦労した経験と、地元産を使用したいという思いも重なり、自分たちでかんきつ類の有機栽培に挑戦することになりました。

● 苦労したこと

就農前、かんきつ類の有機農業ができる農地を探すことに時間がかかりました。就農後は、農薬を使わないことから、夏の除草作業や害虫対策に苦労しています。

● 新規就農を目指す方へメッセージ

知識も経験もなく農業をスタートしましたが、SNSなどWebサイトを活用し自らの活動を情報発信した結果、いろいろな方々と繋がることができ、日々助けていただいています。まずは自分たちが楽しみながら挑戦できるかがポイントです。これからも、自身の体験を次世代に向けて発信していきます。

就農した時期：2022年5月

栽培面積：10a

栽培品目：レモン、ポンカン等

販路：自販



写真提供：Organic Box Farm

憧れの梨農家へ

浅田 侑也さん（焼津市）

● 就農したきっかけ

子供の頃から作物を作ることに憧れがあったことから、農業を学ぶため大学は農学部に進学し、卒業研究では好物である梨を選択しました。大学卒業後は一度JAに就職しましたが、焼津市の離農予定者から梨園を継ぐことを前提に就農を勧められたため、就農を決意し、JAを退職しました。その後、2020年4月から約1年半の研修を受け、第三者承継を行ったのち「浅田梨園」を開業しました。

● 工夫していること

近年の資材高騰への対策と環境負荷低減への配慮を鑑み、魚粉を使用するなど化学肥料の低減を目指しています。

● 今後取り組みたいこと

今年は栽培面積を約96aまで増やす予定で、最終的には2haを目標としています。現在は自分と母親の2人で作業を行っていますが、栽培面積を増やすにあたって労働力を確保するため、法人化も視野に入れながら近隣の障害者支援施設との連携を図っていきたいと思っています。この地域でも高齢化により生産者が減少しているため、自分が先頭に立って梨の産地を発展させていきたいです。

就農した時期：2022年1月

栽培面積：梨55a、米1.4ha

栽培品目：梨、米

販路：直売所、ECサイト



写真提供：浅田 侑也さん

統計の部屋

「令和4年産市町村別農業産出額（推計）」 （農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果）

農林水産省では、令和6年3月、「令和4年産市町村別農業産出額（推計）」を公表しました。

この統計結果は、生産農業所得統計における都道府県別農業産出額を農林業センサス及び作物統計を用いて按分し、市町村別の農業産出額（推計）として毎年提供するものです。

静岡県内市町別では、浜松市が522億円（県計に占める割合24.6%）で最も多く、全国第6位となっています。

静岡県内市町別に、上位2位までの部門を整理すると以下のとおりとなります。



◀【農林水産省HP】
詳細はこちら

市町	農業 産出額	1位部門		2位部門	
		部門	産出額	部門	産出額
静岡市	1,648	野菜	656	果実	453
浜松市	5,220	果実	1,722	野菜	1,308
沼津市	647	果実	248	野菜	136
熱海市	22	果実	17	野菜	4
三島市	490	野菜	275	豚	83
富士宮市	2,444	鶏卵	1,367	生乳	420
伊東市	109	果実	40	その他 畜産物	29
島田市	742	茶	227	加工農産物	192
富士市	737	野菜	134	茶	82
磐田市	905	野菜	437	米	198
焼津市	363	野菜	156	米	99
掛川市	1,430	野菜	428	鶏卵	220
藤枝市	437	野菜	135	果実	84
御殿場市	230	米	85	鶏卵	59
袋井市	781	野菜	332	米	143
下田市	33	その他 畜産物	15	野菜	9
裾野市	64	野菜	21	米	16
湖西市	894	豚	188	野菜	169

市町	農業 産出額	1位部門		2位部門	
		部門	産出額	部門	産出額
伊豆市	178	野菜	68	米	43
御前崎市	490	野菜	259	肉用牛	45
菊川市	622	野菜	175	茶	147
伊豆の国市	498	野菜	363	米	40
牧之原市	1,015	野菜	330	茶	237
東伊豆町	87	果実	37	野菜	36
河津町	47	果実	17	野菜	16
南伊豆町	78	花き	47	野菜	21
松崎町	12	果実	5	米	5
西伊豆町	9	野菜	1	米	1
函南町	266	野菜	105	生乳	72
清水町	16	野菜	11	米	4
長泉町	140	肉用牛	60	野菜	45
小山町	81	米	37	野菜	32
吉田町	112	野菜	64	米	28
川根本町	74	茶	31	加工農産物	26
森町	312	野菜	154	米	42

単位：1,000万円

◀ 農林水産省ホームページで、各種調査結果を公表しています。

分野（農家数、作付面積、生産量など）や品目（米、野菜、果樹、花き等、畜産など）、調査名一覧から各種調査結果を検索できます。





桃の香りを思わせる「ももか」（左）と
より上質な茶葉を使用した「ももか プレミアム」（右）

金谷和紅茶「ももか」：井村園（島田市）

べにふうきを使用した和紅茶「ももか」は、お湯を注ぐとふわっと広がる甘い香りと、渋みの少ないやさしい味わいが特徴です。「ももか」という名前も、その桃のような甘くフルーティーな香りが由来となっています。

関東農政局 静岡県拠点

〒420-8618 静岡市葵区東草深町7番18号

■お問合せ

地方参事官室	054-246-6121
経営所得安定対策等担当	054-200-5500
消費・安全チーム	054-246-6959
統計担当（経営・構造）	054-246-0612
統計担当（生産流通）	054-246-6123

■アクセス

JR静岡駅より
徒歩：約25分（約1.8km）
バス：JR静岡駅北口10番のりば
県立総合病院方面「アイセル21」下車

